

LAOS, CAMBODIA 小旅行

長期滞在をしているラナウの Slagon Homestay からインドシナ半島の LAOS, CAMBODIA を私ども夫婦と妻の友人の 3 人で小旅行しました。そのときの旅程、費用、ホテルリストを以下に記載します。

2014/6/30

AirAsia が、クアラルンプール (KL) から AM7:35 に Laos Vientiane へ飛行しているのを、KL で一泊することにして、早朝 6:30 に Ranau を Taxi で出発した。コタキナバル (KK) に近づくとつれ車の量が増え、多少渋滞に巻き込まれたが、Slagon Homestay からターミナル 2 (LCC 専用空港) まで約 2 時間 20 分で到着することができた。Taxi 料金は 150 リンギ。

翌朝の便が早いので空港 (KLIA2) に隣接した Tune Hotel-klia2 を予約した。このホテルは空港からアーケードの歩道で繋がっており、雨が降っても濡れずに行ける。数か月前まで LCC ターミナルの傍で営業していたが、LCC の空港が KLIA2 へ移転したことに伴い、Tune ホテルも移転した。早朝便を利用する宿泊客に便利なホテルである。ホテルはほぼ宿泊の機能しか備えていないけれど空港まで徒歩数分なので売店や食事は空港にあるものを利用すればよい。早朝の乗り継ぎ客向けに特化したホテルである。

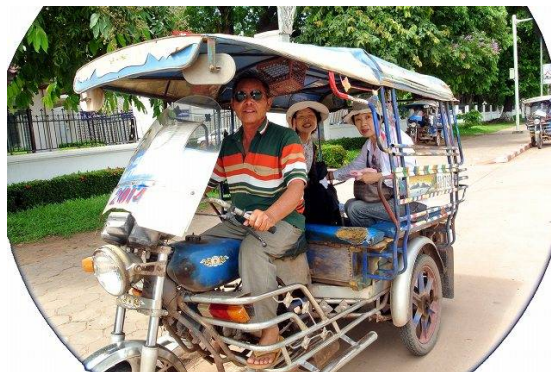
7/1

am5:00 に起床し、5:30 にホテルをチェックアウト。7:35 発 Vientiane 行きに搭乗した。一眠りしているうちに飛行機が着陸した。2 時間 30 分の行程なのに 1 時間 30 分しか経っていない。機体が不調で KL に引き返したということだった。機体を交換して 3 時間 30 分遅れで Vientiane に到着。飛行機が遅れるので迎車の時間を遅らせるようホテルに連絡しておいたけれど車は待っていなかった。やむを得ず空港 Taxi を利用。空港 Taxi を利用する場合、予めチケットを購入することになっている。空港から市内までのチケットの代金は \$7。翌々日 Vientiane から Luang Prabang へ移動するので、バスで移動すべきか飛行機で移動すべきかについてホテルのフロントに意見を求めた。バスは道路事情が悪く 10 時間要し大変な思いをするということゆえ空路を選択することにした。当該区間をラオス航空とラオスセントラル航空が飛行しておりラオスセントラル航空が安いというフロントの情報をもとに代理店に急いだが、ラオスセントラル航空は、今月、同区間を飛行していないことが判明。別の代理店でラオス航空のチケット (\$90/人) を購入。夕食をアンフォンとい

うレストランで済ませてホテルへ戻る。ホテルで航空券の記載に誤りがあることに気づき翌朝対応することにした。

7/2

朝食はビュッヘスタイル。メニューが豊富で、ラオス料理が美味しかった。朝食後、ホテルからメコン川まで散策。昨日の代理店に行き航空券を訂正。店員に名所4か所をラオス語で書いて貰い、それをトゥクトゥクの運転士に示し午前中に次の4か所を観光した。タートルアン、パトゥーサイ、



颯爽と風を切って走るトゥクトゥク



タートルアン — 仏舎利を納めた
45mの黄金の塔

ワット・ホーパケオ、ワット・シーサケート。ワットとは寺院を意味する。約3時間を要しトゥクトゥクの代金100,000キープ（約1,000円）を支払った。昼食を摂りホテルに戻り小休止後、クア ラオというレストランにディナーショーを楽しむために出かけた。民族楽器の演奏に合わせた民族舞踊を見ながらラオスの伝統料理を賞味した。満腹になり一人約1,500

円を支払う。

7/3

9:30 にホテルをチェックアウトし、ホテルの車で空港へ向かう。車代10\$。12:10の便に搭乗し45分でLuang Prabangへ到着。ここは、街全体が世界遺産である。空港でタクシーチケットを購入し、宿泊予定のVilla Nagaraへ向かう。チェックイン後、翌日の1日観光の車の手配をホテルに依頼。8時から17時までチャーターすると\$80ということ。ワット・シントーンを見学。ナイトマーケットを見物後、トゥクトゥクでホテルに戻り夕食。



世界遺産の町 — ルアンプラバン

7/4



パークウー洞窟 — 4,000 個以上の
仏像が安置されている

チャーターした車で、Phoun Phao 寺院、パークウー洞窟、タート・クアシーの滝などを回る。途中でラオスのライスワインとライスウィスキーを購入。15 時にホテルに戻り小休止後市街地を散策。マッサージをして貰ったら 1 時間で約 400 円。夕食を摂りホテルへ戻る。

7/5

am5:00 にホテルを出て托鉢に回る僧侶にご飯、バナナ、お菓子などを差し上げた。

朝食後、Luang Prabang 国立博物館を見学。フランスが傀儡政権として打ち立てた王朝の王宮跡にあり、王族の生活ぶりが覗える品々が展示されていた。Luang Prabang の街並みが一望できるプーシーと呼ばれる小高い丘に登り、眺望を楽しむ。am11:00 頃を過ぎ、とにかく暑いので小休止してアイスクリームを食べる。伝統民族センターで少数民族の文化を見学。タラート・ダーラー市場でショルダーバッグを購入し、昼食を摂り、ホテルに戻って、シャワーを浴び午睡した。この時期、日中は気温だけでなく湿度が高いので、長時間散策することはかなり厳しい。



早朝に托鉢をする僧侶

7/6

朝食後、ベトナム様式の寺院ワット・パパートタイまで歩く。見物後、トゥクトゥクに乗り、メコン川とナムカーン川に囲まれた Luang Prabang の中心地を 30 分位かけて周遊する。料金は 50,000 キープ (約 500 円)。その後、ワット・タートルアン寺院で日本語を勉強している若い僧侶と雑談。小休止後、Luang Prabang で最も美しい寺院と言われるワット・マイを見学。メコン川を見下ろすレストランで春巻き、生春巻き、ココナッツジュースを昼食として摂り、ホテルへ戻り、午後は休憩。

明日は Cambodia の Siem Reap へ向かう。Laos を雨期に訪れたので雨具を持参したが幸い降られずに済んだ。しかしこの時期は温度、湿度とも高く散策するなら早朝から行動して

午前中に限るべきである。午後から観光するのなら風を切って走るトゥクトゥクなどを上手に使うとよい。

Laos の人々は全体におっとりしていて、観光地といえども物売りに付きまといわれることがなかった。経済的に豊かではなくとも心が満たされているのだろう。この国は共産主義であり仏教国である。二つの価値観が融和しているのかもしれない。多くの寺院が保存されており、たくさんの僧侶がいる。早朝の托鉢に恭しく施しをすることが普通のことのようだ。

7/7

ベトナム航空（プロペラ機）で Luang Prabang から Siem Reap へ向かう。Cambodia は入国に際し VISA が必要ゆえ旅行前に東京の赤坂にある同国大使館で取得しておいた。空港でホテルまでの TAXI 券（\$7）を購入。ドライバーがアンコールワットへの交通手段を提供したいと提案。終日チャーターして 45\$（一人当たり\$15）ということゆえ取敢えず明日 1 日依頼することにした。ホテルにチェックイン後、ホテルの勧めに従いアンコール・モルディアルというレストランを予約し、民族ショーを見ながら食事（\$12/人）をした。レストランとホテルの往復にトゥクトゥクを利用（片道 2\$）。料理、ショーとも月並みであり、また団体客用であり、マナーの芳しくない某国からの団体客が大勢入っており、推奨できない。

7/8

am8:30 ホテルを出発して昨日予約した TAXI に乗りアンコールワットへ向かう。3 日間入場券を\$40 で購入。中に入ると学生だと称する者がガイドをしたい、費用は好きな額だけ払ってくればよい、アンコールワットはヒンズー教の遺跡であるが、その中に仏教寺院があり、そこで貧乏ゆえ学校に行けない子供たちに Cambodia 語と数学を教えているということ。2 時間 30 分位アンコールワットを案内しながら一応熱心に説明をしてくれた。別れる段になって案内した 3 人それぞれに\$25 を要求した。ガイド料ではなく子供たちの施設への寄付であるという説明。真偽のほどは不明だが一人当たり\$10 を支払った。



アンコールワット — 12 世紀初頭の
建造物



水上生活者の村 — 学校, 市場, 工場, 交番などが水上に浮かぶ

タクシートの運転士に相談し次の目的地を Floating Village に決めて向かった。入場料とボート代金 \$ 25 を支払い約 1 時間 30 分のクルージングをした。大きな湖から放射状に川が流れており、そのたくさんの川の上に船を浮かべてその上で生活している人々が 5 万人位いるという。川に浮かんだ派出所, 機械修理工場, 市場, 学校, たくさんの個人住居がある。なぜ水上で生活するのかと問うと貧しいからという答。約 50 人の子供が生活をしている

学校があった。寄付を求められた。現金だと着服する先生がいるので米を買って寄贈して欲しいということ。水上市場に行き 30kg の米を約 1,500 円で購入して学校へ運んだ。船のガイドと運転士からチップを求められそれぞれに ¥500 相当を渡す。この国は貧しすぎる。生きるためなら施しを受けることが気にならない人が多いようだ。Laos にも貧しそうな人々はいたが物乞いはされなかった。隣国でありながら心根に大きな差があるようだ。ポルポトの悪行の影響がいろいろな分野に根深く浸透しており成長を妨げているのだから、早く脱却して欲しい。

7/9

am8:00 ホテルを出発してアンコールトムへ向かう。途中道路脇でドリアンを販売していたので購入 (\$7/3kg) し、車中で目的地に向かいながら食べる。アンコールトムのバイヨンを見学後夕・ケウへ行く。そこから車で 1 時間かけて現在も修復がなされていない森の中に潜むベン・メリアの遺跡へ行く。ここではアンコールワット共通入場券は使用できず



12 世紀後半に建造された
宇宙の中心を表すバイヨン

\$ 5 を要した。小雨に見舞われ岩がゴロゴロと積み上がった遺跡の上を滑らないように気を付けながら散策した。未だに近くで地雷除去が行われているようで、ささやかながらその活動に寄付をした。



ベン・メリア — 今なお森の中に
眠る巨大寺院

7/10

午前中にアンコール国立博物館を訪問した。入場券をホテルで購入することができ、ホテルから行きだけトゥクトゥクで(無料で)送ってくれた。アンコール時代も含んだクメール文化全体の歴史、宗教、遺物などが分かりやすく展示されているので、アンコールワットやアンコールトムを見学する前に訪れ、予習してから本物を見に行った方がよかったかもしれない。

Siem Reap で宿泊したホテルはモダンで清潔なホテルであり、いろいろなサービスがフリーで提供された。例えば、ミニバーの飲み物、ランドリーサービス、空港へ送ることなどである。このようなサービスを提供することがこの地域では普通のことか否か知らない。

Siem Reap では、米ドルと Cambodia の通貨であるリエル (riel) が流通している。その他にもタイのバーツを使用できるそうだ。しかし、ドルを持っていれば支払いに全く困らない。スーパーマーケットなどでも表示はすべてドルであり、Cambodia の経済はドルに基づいている。しかし、補助通貨であるセントがないので、ドルで払うと、釣り銭として小銭がリエルで戻ってくる。

7/11

朝食後、am6:15 ホテルの車で空港まで送って貰い、Siem Reap から KL を経由して pm5:00 KK に到着。KK のターミナル 2 の到着ゲートは到着機が重なると混雑し、今回もゲート通過に 40 分要した。Ranau からの迎いの TAXI に乗り、pm8:00 過ぎに Slagon Homestay 到着。旅を無事終えることができた。

今回の旅行の航空券は、一部を除いて航空会社のホームページで予約した。ホテルは、ネット上の旅行代理店 AGODA で予約した。

旅程表

Date		Transportation	FROM		TO		Where to stay
30-Jun	Mon	TAXI	Slagon	6:30	BKI_T2	9:00	Kuala Lumpur
		AK5109	BKI_T2	10:55	KLIA2	13:25	
1-Jul	Tue	AK552	KLIA2	7:35	VTE	9:00	Vientiane, Laos
		Sightseeing					
2-Jul	Wed	Sightseeing					
3-Jul	Thu	Lao Airlines 101	Vientiane	12:10	Luang Prabang	12:55	Luang Prabang, Laos
4-Jul	Fri	Sightseeing					
5-Jul	Sat	Sightseeing					
6-Jul	Sun	Sightseeing					
7-Jul	Mon	VN931	LPQ	14:10	REP	16:10	Siem Reap, Cambodia
8-Jul	Tue	Sightseeing					
9-Jul	Wed	Sightseeing					
10-Jul	Thu	Sightseeing					
11-Jul	Fri	AK543	REP	8:35	KLIA2	11:35	Ranau
		AK5114	KLIA2	14:25	BKI_T2	17:00	
		TAXI	BKI_T2	18:00	Slagon	20:30	

BKI_T2: Kota Kinabalu International Airport Terminal 2 KLIA2: Kuala Lumpur International Airport 2 LPQ: Luang Prabang International Airport REP: Siem Reap International Airport
 VN: Vietnam Airlines AK: AirAsia

費用

			check-in	check-out	Number of nights	Fee
Hotel	Kuala Lumpur	Tune Hotel - klia2	30-Jun	1-Jul	1	¥5,928
	Vientiane Laos	Sabaidee@Lao Hotel	1-Jul	3-Jul	2	¥16,954
	Luang Prabang	Villa Nagara	3-Jul	7-Jul	4	¥30,108
	Siem Reap Cambodia	Memoire d' Angkor Boutique Hotel	7-Jul	11-Jul	4	¥25,264
	Subtotal (11 nights)					
Air Ticket	Air Asia	BKI_T2 <-> KLIA2				¥7,682
		KLIA2 -> VTE				¥4,675
		REP -> KLIA2				¥9,352
	Lao Airlines	VTE -> LPQ				¥9,270
	Vietnam Airlines	LPQ -> REP				¥23,009
	Subtotal					
Total						¥132,242

ホテル代金は一部屋当たり，航空券は一人当たり

ホテルリスト

Where to stay	Hotel Name	check-in	check-out	Phone	特徴
Kuala Lumpur	Tune Hotel - klia2	30-Jun	1-Jul	+6037962 5888	KLIA2 に隣接しており，早朝便に乗り継ぐためのホテル
Vientiane Laos	Sabaidee@Lao Hotel	1-Jul	3-Jul	+8562022214193	中心地にある朝食メニューが豊富で美味しい
Luang Prabang	Villa Nagara	3-Jul	7-Jul	+85671252829	川辺に立つ情緒あるホテル ミニバーの飲み物が無料
Siem Reap Cambodia	Memoire d' Angkor Boutique Hotel	7-Jul	11-Jul	+ 85563766999	ミニバー，ランドリー，空港送迎が無料 モダンで清潔なホテル